



後継者として仲間と共に守っていく



新日本水産(株)

専務 松本 大平 さん

3兄弟の長男として生まれ、22歳で家業を継ぐため帰省。災害当時北灘漁協後継者協議会で会長を務める。現在も自治会長を務めるなど地域の担い手として活躍中。



当時の様子

平成30年7月。松本さんは、マダイを養殖しているいかだへと向かう船の上で、降り続く豪雨に胸騒ぎがして、沖からすぐに引き返しました。ダムからの放流速度が速く、多量の淡水が流れ込み「水潮」の状態になり、それと同時にアシや木も大量のごみとして流れ着き、湾を覆いました。台風などで同じような現象が発生していましたが、それ程の状態となつたのは初めてだと話します。船を出すうにもプロペラが流木などを巻き込むと故障の原因になってしまうため、復旧には時間がかかりました。その間は餌やりも出荷もでき

ず、もどかしい日々が続きました。片付けが進み様子を確かめると、流れとごみの影響で網が浮き上がり、魚の泳ぐ隙間が無くなって数百匹以上がだめになっていました。しかし松本さんは、地元の後継者たちと力を合わせて前向きになりました。網を流れに強い金網に変えるなど新しいものを取り入れながら、環境の変化に対応してきました。「これからも北灘の海で大切に育てたタイを皆さんに届けていきます」と力強く語ってくれました。

■災害記録誌

平成30年7月豪雨から3年を迎えるにあたり、災害記録誌を作成しました。ID:0064333



■災害記録パネル展示

日 ①7月27日(火)～8月6日(金)②8月9日(月)祝～19日(木)③8月21日(土)～9月5日(日)④9月7日(火)～

場 ①三間公民館②岩松公民館③中央公民館④吉田公民館

問 市長公室復興調整班 ☎24-1111 内線2446



ID:0064150